

2022-23年度クラブ会報 第25号 2023年2月17日発行

2023年1月18日 第2399回 例会報告

イニシエーションスピーチ

権田 雪博 会員・鶴田 大助 会員・高橋 弘貴 会員



権田 雪博 会員



鶴田 大助 会員



高橋 弘貴 会員

1月25日(水)プログラム

職業奉仕委員会

田代 和也 職業奉仕委員長

次回プログラム

2月1日(水)

全員クラブ協議会

2022~23年度国際ロータリー会長テーマ

イマジン ローター

RI会長 ジェニファー E. ジョーンズ

2022~23年度東京武蔵村山ロータリークラブテーマ

今までの50年に感謝して、これからの
50年のクラブの継続をみんなで考えて行動しよう

第51代会長 比留間一義

・進行 倉内 淳 会場運営委員長

・ニコニコBOX発表 薄井 政光 親睦委員

・点鐘 比留間 一義 会長



ニコニコBOX

- * 比留間一義会長・荒井孝育幹事⇒権田会員、鶴田会員、高橋会員とっても楽しいスピーチ楽しみにしております。
- * 薄井政光会員⇒誕生日と古希の祝いの有難うございます。

◆今回計16,000円 累計 871,000円

・会務報告 比留間 一義 会長



・斉唱「それでこそロータリー」

ソングリーダー：井上 昇一 会員



・出席報告 酒寄 好夫 会場運営委員



- ロータリーの特別月間に関して
 - ・「環境」がロータリーの重点分野に加わったことを受け国際ロータリー理事会は2022年10月の会合で今年の4月から4月を「環境月間」とすることに同意しました。
 - ・今まで4月だった「母子の健康月間」は7月に変わります。
- 国際ロータリー人頭分担金請求書が届いております。
 - ・139,799円
- 米山普通寄付下期納入のお願い
 - ・@3000円×30名=90,000円
- ODEセミナーご案内(会長・会長エレクト・全会員)
 - ・日時:3/1(水) 15時開会
 - ・場所:ホテルレバント東京4F ㊦切2/10(金)
 - *DEIとは
 - ロータリーの多様性・公平さ・インクルージョン (包摂性)
- 第15回全国RYLA研究会札幌会議開催のご案内
 - ・日時:5/20~21
 - ・会場:札幌グランドホテル
- 3/10(金)地区希望の風チャリティーコンサートご案内(再)
 - ・日時:3/10(金)17時開場
 - ・場所:すみだトリフォニーホール
 - ・登録料:対面1名6,000円オンライン1名3,000円
 - *対面参加のご協力をお願い致します。

会員数	出席者数	出席率	前々回出席率修正
30名	22名	75.86%	なし

・幹事報告 荒井 孝育 幹事



- ハイライトよねやま274号
- 次年度地区ロータリー財団委員会と懇親会ご案内(比留間孝司)
・日時:1/30(月)16時～ 明治記念館
- RLI第1会在京講習開催のご案内(荒井・宮崎正巳)
・日時:1/21～22
- 鶴田大助会員の会員プロフィール各自メールBOXに入れてあります。
- 武蔵村山市民まつり実行委員会よりデエダラまつりお礼状とカレンダーをいただきました。

・卓話

「イニシエーションスピーチ」

権田 雪博 会員・鶴田 大助 会員、高橋 弘貴 会員

権田 雪博 会員

生まれ育ちは東村山で、サッカー漬けの生活を送ってきた。
北山小学校ではエース、東村山四中は弱かったが多摩地域では有名な選手であったので女の子にも人気があった。
高校は日大豊山に進学したが授業中は寝てばかりの高校生活。体育会系の縦社会だったので、朝練は7時半集合、先輩の説教を土下座して聞く環境だった。
東京でなければ強豪校だったと思うが、帝京高校と練習試合をして、クリーンだけでは勝てない全国レベルも知った。3年時には都でベスト16、歴代最強と言われていた。
大学は日大に進学、江ノ島で多くの時間を過ごした。
就職は竹内印刷に13年、離婚も経験し、アクシスエージェンシーを設立運営。
法人会、商工会に在籍、どの会も下っ端から始めているので、ロータリーでも何か回ってくる覚悟です。日々精進するのでご指導よろしくお願いします。

鶴田 大助 会員

パソコンアレルギーで手書きのメモを用意してきました。
村山団地の生まれで男4人兄弟で育ちました。当時の団地はアクシデントも多く、生きる術を学んだ気がする。小学校3年時には徒党を組んで先生に目を付けられ、剣道をやらされたおかげで、早めに更生したのではないかと(笑)
力が強いより、頭が強いほうがいいと気づき、夜中から朝まで勉強した。
高校は東大和南高校に進学したが、事故でCUに入るような経験もした。進学も考えたが、先生とそりが合わずに断念。
瑞穂の東成エレクトロビームに就職、要職も任されたが同じところにいられない性分で退社。
当時取引先の社長の娘と知り合い、家出同然で我が家に来た。知り合いの取引先社長から、娘の家出の件で相談されて困ったが、子供ができたので覚悟して、白状した。
義父は間もなく他界したが告白できてよかった。
その後、職人が儲かると思いトラック一台で足場の商売を始めたが性に合わず1年で断念。その後新橋の防水工事業に転職しその後独立今に至る。子供も3人いて事業も軌道に乗り、少し余裕ができたのでロータリーに入会させてもらった。
自分などがいいのかという思いもあるが、これからもよろしくお願いします。

高橋 弘貴 会員

1963年、オリンピックの前年に生まれ、オリンピックは2度経験している。東村山の八坂で子供6人兄弟の長男として生まれた。その後、東大和市の新堀に転居したがそこでは6畳、4畳半に7人家族という生活だった。その後、戸建てに転居したものの、父親が保証人となった関係で、家を手放し苦労した。
武蔵村山に転居して中学ではロックバンドにハマった。高校受験も近くの都立を目指していたが、当日の失敗で拓大一高に進学。高校時代もバンドとクルマに熱中。免許取得可能となった段階で即取得したほど。熱中のあまり出席日数が足りず、推薦での大学進学を断念。勉強がしたかったわけではないので大学にはいかないことにした。
音楽では食えない思い、当時大手のジャパンレンタカーに就職したが、通勤ラッシュが嫌で会社を辞めた(行かなくなった)(笑)
その後大型の免許を取得したがトラック経験はなし。日産工場内の陸送を経験したのち、現在のバス事業を開始。25歳で始めて35年経つ。
添乗員がタイなどアジア圏が多く、その人たちが帰国後旅行会社を興したりして当時の縁で当社に依頼があるなど、最盛期は一日の手配台数が100台を超えた。
コロナで苦労もしたが、少しずつ動き始めている。最近3年ぶりに海外に出張したが、台湾の女性社長と話をしたら、ロータリアンだった。話が盛り上がり数日後の音楽会に招待された。
参加してみるとそこにもロータリアンが複数いてロータリーに入会したことが仕事上でもいい影響を与えている。これからもよろしくお願いします。

※会長、倉内淳SAAより、3名の話は時間が足りなかったため、改めて時間を設けて続きを聞きたい。

◇ 創立 1972年7月8日 ◇ 承認 1972年7月20日
◇ スポンサークラブ 東京立川ロータリークラブ
◎ 会長 比留間一義 ◎ 幹事 荒井 孝育
○ 副会長 佐藤 貢 ○ 副事 宮崎 正巳
□ クラブ会報委員長 内野 均 副委員長 比留間健一
委員 嶋田哲男、阿久津圭吾
井上昇一、倉内哲

東京武蔵村山ロータリークラブ
事務局/例会場 西武信用金庫村山支店2階
〒208-0004 東京都武蔵村山市本町2丁目91-1
TEL:042-520-3251/FAX:042-520-3252
Eメール:t-mmrc@crest.ocn.ne.jp
●例会日:毎週水曜日 12:30～13:30